

熊本城天守閣復旧整備事業について

1. これまでの取組経緯について

- 熊本城復旧の基本的な考え方（平成 28 年 7 月 26 日）
熊本市の 5 つの考え方の 1 つとして、公表する。
復興のシンボルである天守閣の早期復旧を目指す。



- 平成 28 年 8 月 15 日 熊本城天守閣災害復旧整備事業プロポーザル公告（技術提案・交渉方式）
- 平成 28 年 10 月 20 日 熊本城天守閣災害復旧整備事業優先交渉権者選定（大林組）
- 平成 28 年 12 月 7 日 設計業務委託契約締結（躯体復旧・外装復旧・耐震）
- 平成 29 年 3 月 24 日 工事請負契約締結（躯体復旧・外装復旧等）

2. 取組状況について

- 熊本城復旧基本方針（平成 28 年 12 月 26 日）
<主要施策>
市民・県民の復興のシンボル「天守閣」の 2019 年を見据えた早期復旧
熊本城のシンボルであり、市民・県民をはじめ国内外の多くの方々が震災復興のシンボルとして早期復旧を望んでいる天守閣の一日も早い復旧を目指します。
天守閣の復旧に向けては、本市で開催を予定している国際スポーツイベントも見据え、2019 年（平成 31 年）には天守閣の復旧した姿をご覧いただけるよう取り組みます。

- 熊本城復旧基本方針（平成 28 年 12 月 26 日）
<主要施策>
耐震化等による天守閣の安全性の向上
天守閣の復旧にあたっては、震災前から耐震化に向けた検討を進めてきたところであり、今回の熊本地震の教訓を生かし、災害時の来場者の安全対策を講じるための鉄骨ブレース等による耐震補強を行うなど、天守閣の耐震化に取り組みます。また、災害発生時の減災対策としての防火区画の形成など、耐震化と併せた安全対策を講じます。



- 平成 28 年 11 月 29 日 第 3 者機関による構造評価委員会
（被災前・被災後の天守閣耐震診断の評価） 耐震補強による復旧が可能
- 現在、耐震設計を進めており、早ければ平成 29 年 5 月下旬開催予定の構造評価委員会を目指し、復旧案検討を進めている。

・ 熊本城復旧基本方針（平成 28 年 12 月 26 日）

<主要施策>

天守閣のバリアフリー化及び内装・展示の刷新

これまで天守閣の各階の昇降や大天守 6 階の展望フロアへの移動手段は階段しかなく、障がい者や高齢者の方々が十分に天守閣をご覧できる設備環境が整っていなかったことから、今回の復旧に併せて、天守閣への階段での昇降が困難な方専用のエレベーター設置や車いす利用者のための入口部分のスロープ設置など天守閣のバリアフリー化に取り組みます。

また、内装・展示については、これまでの展示に係る空調設備等の課題や展示内容のあり方に対する指摘等を踏まえ、今回の復旧に併せて内装・展示内容の刷新に向けた検討を行い、熊本地震の展示をはじめ、ストーリー性を持った熊本城の歴史や魅力を体感できるような復旧後の天守閣に相応しい内装・展示を目指します。



(1) バリアフリーについて

天守閣内のエレベーター設置について

【方針】技術提案書の内容にて設計を進める。

- ・ 完成後の入場者動線は変更しない（入口・出口は変更なし）
- ・ エレベーターについては、2 回乗換えとなる。

エレベーターの大きさは既存の構造体を利用しての設置となるため、すべて 6 人乗り程度の大きさとなる。 **障がい者や高齢者のみの限定利用**

と の乗り換えについては、大天守 6 階展望室の回遊性を図るため。

-) 小天守地下 1 階～地上 1 階
-) 大天守 1 階～大天守 5 階
-) 大天守 5 階～大天守 6 階

スロープ設置について

【方針】技術提案書の内容にて設計を進める。

- ・ これまでの入口部分は階段があるため、段差解消スロープを設置する。
- ・ 出口についてはこれまで通り階段とする。

障がい者や高齢者のエレベーター利用者は入口から出ることとなる。

ユニバーサルデザインについて

【方針】技術提案内容の採否しながら、設計を進める。

（採用）

- ・ 多目的トイレを設置する。
- ・ 視覚障がい者・聴覚障害者・知的・精神・発達障がい者・高齢者等・子連れ利用者・外国人利用者へのユニバーサルデザインを実施する。

避難計画について

【方針】技術提案内容について採否しながら、設計を進める。

（採用）

- ・ 階段廻りに縦穴区画を形成し、入場者が安全に施設外へ避難できる計画とする。
- ・ 消防法に基づいた防災設備とする。

(2) 内装・展示について

【方針】技術提案書の内容を基本として、検討を進める。
熊本城周辺施設との差別化と位置づけ

オリジナル(実物)展示施設

- ✚ 県立美術館<昭和51年>
 - ・平成20年4月より「細川コレクション永青文庫展示室」が開館
 - ・細川家にまつわる美術工芸品・歴史資料ほか熊本県ゆかりの美術や歴史を展示
- ✚ 市立博物館<昭和53年>
 - ・加藤家・細川家にまつわる絵図、美術工芸品、書状などを展示。
 - ・平成30年秋にリニューアルオープン予定。リニューアルに併せてこれまで天守閣内にあった「細川家舟屋形」を移設展示予定。

体験学習施設

- ✚ 熊本城本丸御殿(体験学習施設)<平成20年>
藩主の執務や生活の様子を体験できる施設として復元整備
- ✚ 旧細川刑部邸<平成5年>
上級武士の生活空間を体験できる施設として移築整備
- ✚ 桜の馬場 城彩苑(歴史文化体験施設)<平成23年>
熊本城のエントランスにあたる桜の馬場地区の観光交流施設として整備。観光客向けのガイドランスと体験コーナーを設け、観光客等の滞留時間を拡大するとともに、周辺地域への回遊性を促進し、中心市街地の活性化ならびに城下町である本市の魅力向上に寄与する施設として整備。

関連施設

- ✚ 田原坂西南戦争資料館<平成27年>
西南戦争に至る時代背景や意義など映像・音・振動・ジオラマで戦いの様子をリアルに再現した体感展示や、実際に使われた銃や弾、古文書等の貴重な資料を展示

(案)天守閣内は保存環境に制約が多いため、基本的にはオリジナル(実物)展示は行わない。

展示ストーリー(案)

<これまでの展示>

- ・加藤時代
- ・細川時代
- ・西南戦争

← に加えて紹介

- ・明治22年熊本地震
- ・明治から昭和にかけての軍施設時代
- ・昭和35年再建
- ・平成の復元整備
- ・平成28年熊本地震